

第95回天皇杯・第86回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会  
香川県大会兼国体チーム選手選考会

No. E4

競技日	平成31年4月28日(日)	会場	ツインパルなご
開始時間	15時00分開始	競技種別	男子決勝
審判名	CC 白川一樹 U1	平尾翔汰朗 U2	山西秀治

四国電力	92	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>30</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr><td>22</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>24</td><td>—</td><td>16</td></tr> </table>	16	—	17	30	—	13	22	—	17	24	—	16	63	クリッパークラブ
16	—	17														
30	—	13														
22	—	17														
24	—	16														

チーム名 四国電力							チーム名 クリッパークラブ						
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	香川 誠治	15	3	1	4	1	0	國方 俊吾	7	0	3	1	2
6	本井 敏雄	13	0	5	3	3	1	鎌田 竜二	—	—	—	—	—
7	植村 尚友	8	0	3	2	2	2	上野 夢翔	—	—	—	—	—
8	叶井 義志	—	—	—	—	—	3	福本 紅輝	—	—	—	—	—
9	福永 直人	0	0	0	0	0	5	奥田 真大	11	1	3	2	3
11	林 和希	3	1	0	0	0	6	河津 郁巳	3	1	0	0	2
12	鈴木 涼太	14	0	6	2	2	7	福田 達也	—	—	—	—	—
14	前田 虎城	2	0	1	0	0	11	松野 創	—	—	—	—	—
15	小野 晴貴	2	0	1	0	0	15	東原 祐也	—	—	—	—	—
16	梶原 聖大	18	0	9	0	2	23	山下 和樹	3	1	0	0	1
18	山野 裕太	17	2	5	1	2	24	高橋 海人	7	1	2	0	1
							29	濱野 富之	2	0	1	0	4
							34	池本 宗太郎	—	—	—	—	—
							50	井上 智博	30	5	7	1	3
コーチ	近石 裕幸	—	—	—	—	—	コーチ	山下 浩二	—	—	—	—	—
A・コーチ	林 達郎	—	—	—	—	—	A・コーチ	黒田 泰紀	—	—	—	—	—
		92	6	31	8	11			63	9	16	3	16

【戦評】

1Q:両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。クリッパーが#50の3Pで先制を奪う。続いて#24の3P、#29の2Pなどで加点し、開始3分で8-1とリード。高さで勝る四電も#18や#6のインサイドで対抗し一進一退の攻防が続く。17-16、クリッパー1点リードで終了。  
2Q:四電は激しいディフェンスから#16のゴール下や#6のリバウンドからのバスカンなどでペースを掴み、残り6分25-22と逆転に成功。クリッパーも#50の得点で対抗するも四電のディフェンスに苦しみ、得点が伸びない。#4の3Pが効果的に決まり攻守に主導権を握った四電が46-30とリードして前半を折り返す。  
3Q:クリッパーは#0のドライブからのバスカンで気を吐くも、四電#12の2Pなどで54-33とリードを広げたところでクリッパーはたまたまタイムアウトをとる。#50の個人技や#23から#5への合わせなどで得点を重ねるも、四電もリバウンドからの速攻などで#16や#4の得点で対抗する。終盤クリッパー#5の3Pで得点するも68-47で四電リードで終了。  
4Q:クリッパーは#29の好ディフェンスから#5の速攻や#50の3Pで得点を重ねる。対する四電は#18の3Pやゴール下で得点を伸ばし、流れを渡さない。中盤から四電はゾーンディフェンスに変え、安定したゲーム展開で92-63とリードを広げて4年連続の優勝を果たした。

記載者 遠山 良輝  
一般社団法人香川県バスケットボール協会

第95回天皇杯・第86回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会  
香川県大会兼国体チーム選手選考会

No. E3

競技日	平成 31 年 4 月 28 日 (日)	会場	ツインパルながお
開始時間	13 時 00 分 開始	競技種別	女子決勝
審判名	CC 田中 豊弘 U1	三谷 修司 U2	藤原 紘子

明善クラブ	64	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>—</td><td>25</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>26</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>26</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>22</td></tr> </table>	24	—	25	15	—	26	10	—	26	15	—	22	99	高瀬高校
24	—	25														
15	—	26														
10	—	26														
15	—	22														

チーム名		明善クラブ						チーム名		高瀬高校					
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則		
4	井内 和代	—	—	—	—	—	4	吉田 亜美	17	2	5	1	3		
6	芋阪 悠希	4	0	1	2	1	5	臼杵 晏佑	2	0	1	0	5		
8	永井 智恵	—	—	—	—	—	6	中畑 聖菜	19	0	9	1	1		
9	平井 瑞希	10	0	4	2	4	7	森内 千智	21	4	3	3	3		
10	山下 朋代	—	—	—	—	—	8	小西 里奈	9	1	3	0	2		
12	柿木 美咲	—	—	—	—	—	9	安藤 萌衣	28	0	10	8	4		
13	東原 綾那	2	0	1	0	2	10	加藤 彩夏	3	0	1	1	4		
15	濱 祐希奈	11	0	5	1	4	11	細野 夏希	—	—	—	—	—		
16	池田 千紘	14	1	5	1	5	12	高尾 実幸	—	—	—	—	—		
17	山本 志穂	18	1	6	3	4	13	金久 雪乃	—	—	—	—	—		
19	高木 明日加	5	1	1	0	2	14	松原 江利	—	—	—	—	—		
							15	宮田 響	—	—	—	—	—		
							16	柳原 紅波	—	—	—	—	—		
コーチ	山下 朋代	—	—	—	—	—	コーチ	高橋 利幸	—	—	—	—	—		
A・コーチ	池本 恵利納	—	—	—	—	—	A・コーチ	大西 亜紀	—	—	—	—	—		
		64	3	23	9	22			99	7	32	13	19		

【戦評】

高瀬高はマンツーマンディフェンス、明善クはゾーンディフェンスでスタート。  
 1Q:明善ク #19が速攻で先制すると、高瀬高は #4の3Pやドライブインで得点。中盤、高瀬高 #9のポストプレーが効果的に決まり一時リードするも、明善クはタイムアウトでリズムを取り戻し、互いに一進一退の展開となる。高瀬高が25-24とリードして終了。  
 2Q:高瀬高 #4のバスケットカウントからリズムをつかみ、#9のポストプレー、#8のミドルシュートがたて続けに決まる。明善クは高瀬高の粘り強いディフェンスに苦しみ得点が伸びない。中盤以降も、高瀬高は #7の3Pなどで引き離し、高瀬高が51-39とリードしてハーフタイムを迎える。  
 3Q:開始直後、高瀬高のターンオーバーから明善ク #16が得点。#19も3Pを決めてリズムを取り戻したかと思われたが、高瀬高は #4のボールコントロールから #9のポストプレー、#7の3Pが小気味よく決まり主導権を渡さない。高瀬高が77-49と点差を広げて終了。  
 4Q:明善クは #16のシュートで追いつがるが、高瀬高はゲームをコントロールしながら #6のミドルシュートなどで加点し追撃を許さない。結局、ゲーム中盤のリードを守り切った高瀬高が99-64で勝利して優勝。初の栄冠に輝いた。

記載者 三本 康一郎  
 一般社団法人香川県バスケットボール協会